

建災防宮城県支部からのお知らせ

令和元年9月1日

県内建設業労働者の健康診断有所見率は69%！
全国労働衛生週間に向けて健康管理の一層の徹底を
令和元年10月1日～10月7日(準備期間9/1～9/30)

今年も、10月1日より全国労働衛生週間が「健康づくりは人づくり みんなでつくる 健康職場」をスローガンに実施されます。

平成30年の定期健康診断実施結果の有所見率を見ますと、全産業では全国平均で約56%（宮城県約61%）となっており、建設業では全国平均が約63%（宮城県約69%）となっています。

健康診断の確実な実施はもとより、健診実施後の事後措置（要治療・精密検査者への受診勧奨、就業制限の有無に係る医師の意見聴取、有所見者等に対する保健指導等）の実施状況について確認をお願いします。

また、熱中症、石綿健康障害対策、長時間労働に係る健康障害防止対策、メンタルヘルス対策等についてこの機会に社内の予防体制に問題がないか検証をお願いします。



(実施要綱は建災防本部HPか「建設の安全(号外)」をご覧ください。)

将来に禍根を残さぬために！

石綿解体による職業性疾病予防対策の充実を

近年の石綿関連疾病の労災支給決定件数が1,000件前後で推移する中、建設業がその内の約600件を占めています。今後さらに石綿を含有する建材が用いられた建築物の解体工事の増加が見込まれることから、石綿の有無に関する事前調査や飛散・ばく露防止対策の徹底をお願い致します。

石綿関連作業は肺がんや中皮腫等の健康被害が生じるおそれがあります。これらの疾病については、発症までの期間が非常に長く、肺がんで15～40年、中皮腫で20～50年との特徴があります。

- (1) 建築物等の解体工事における、石綿等使用の有無に関する事前調査の徹底
- (2) 石綿等を使用した建築物の解体工事等における、適正な隔離、隔離空間の負圧化等による飛散防止対策及びばく露防止対策の徹底
- (3) 石綿等の除去作業において有効な呼吸用保護具等の使用の徹底
- (4) 健康診断の実施の徹底及び離職後の健康診断結果の適切な保存

肺がん・中皮腫発生件数の推移

年度	平成28年度		平成29年度		平成30年度	
	肺がん	中皮腫	肺がん	中皮腫	肺がん	中皮腫
全産業	387	540	335	564	376	533
(建設業)	227	283	178	292	213	312

詳しくは、厚生労働省HP「アスベスト(石綿)情報」をご覧ください。

死亡災害撲滅を

宮城県内労働災害の発生状況（令和元年7月末現在）

宮城労働局発表より
（建設業関係）

業種	年	平成 29 年 全期		平成 30 年 全期(確定値)		平成 30 年 7 月末		令和元年 7 月末		前年同月比較			
		死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷	死亡	死傷		死亡	
										増減数	増減率 %	増減数	増減率 %
全産業計		2385	17	2589	23	1385	13	1162	12	-223	-16.1	-1	-7.7
建設業		350	5	336	7	182	4	181	5	-1	-0.5	+1	+25.0
土木工事業		123	2	123	2	69	2	58	3	-11	-15.9	+1	+50.0
建築工事業		179	3	156	3	82	1	98	2	+16	+19.5	+1	+100.0
鉄骨・コンクリート造 家屋建築工事業		48	2	43	2	24	1	25		+1	+4.2	-1	-100.0
木造家屋建築工事業		86		54		32		47	2	+15	+46.9	+2	
建築設備工事業		17	1	18	1	8		8					
その他の建築工事業		28		41		18		18					
その他の建設工事		48		57	2	31	1	25		-6	-19.4	-1	-100.0

災害件数は令和元年7月末までに受付した労働者死傷病報告（休業4日以上）により計上しています。死亡件数は内数となっています。

みやぎ復旧・復興工事新ゼロ災推進運動の再徹底を
新ゼロ運動用専用安全旗等を無料配布します！

本年は、県内の震災復旧工事で死亡災害が2件発生しております。これから、冬季、年度末に向けて作業環境が厳しくなることが予想されます。

関係工事を施工する皆様におかれましては、建設3大災害や交通労働災害等の防止に向けて、経営トップのメッセージ発出・現場巡視、現場安全衛生大会の実施、安全衛生教育の充実等を行い、あらためて復旧・復興工事新ゼロ災推進運動の活性化をお願いします。

同運動再徹底のため、安全大会・協議会等で活用していただくことを目的に、専用安全旗、のぼり旗を無料でご提供します。新しい旗の下、安全意識の向上を図るため御活用ください。（お申し込みは、別紙「専用安全旗等申込書」にてFAXでお願いします。）

令和元年（平成31年）死亡災害発生の概要（震災復旧工事関係）

宮城労働局発表より

番号	発生年月	事故の型	業種	災害の概要
	時間帯	起因物	労働者数	
1	平成31年2月	墜落、転落	土木工事業	防潮堤工事現場において、高さ約5mの防潮堤の上に設置された仮設足場へ乗り、天端仕上げ作業の準備中、強風により当該足場と共に墜落し、数日後に死亡した。（震災復旧工事）
	10時頃	足場	1人～9人	
5	令和元年7月	激突され	土木工事業	ドラグショベルでの土砂掘削作業中、掘削作業の指示者が海中の掘削箇所を確認するためにショベルの旋回範囲内に進入（潜水）し、バケットが被災者に激突した。（震災復旧工事）
	8時頃	掘削用機械	1人～9人	

（注）速報を取りまとめたものであり、今後、修正・削除される可能性がある。



建災防宮城県支部 HP

建設業労働災害防止協会 宮城県支部

〒980-0824 仙台市青葉区支倉町2-48 宮城県建設産業会館5階

電話 022-224-1797 Fax 022-265-5604